

# 安全・安心・安定供給へ取組む

新春インタビュー  
Interview  
2014

## 物産フードサイエンス株式会社

代表取締役社長 鎌野 恒徳氏

ソルビトールや還元水あめをはじめとする糖アルコールの国産メーカーの地位を確立する物産フードサイエンス。同社では、国産メーカーを維持するために多くの課題に挑戦し、克服している。また、糖アルコールを主軸としながらも自社ブランドとしての機能素材開発に注力しているほか、商社機能を活用して仕入販売も拡大中だ。さらに中核技術を活かした水添の受託業務に着手するなど多角的な事業を進めている。ここでは、鎌野恒徳代表取締役社長に登場いただき、現在、進めている事業内容や今後の経営戦略について話を伺った。

— 国産メーカーの糖アルコールメーカーとして現在、取り組んでいる製造・販売に関する活動をお聞かせ下さい。また、経営理念のなかに『安全・安心・安定供給』および、技術革新の成果をお客様にお届けします』とございます。この経営理念に沿った取り組みはございますか

鎌野 ます、当社が製造・販売するものはどのようなものであるべきかですが、食品用途の製品に関しては「自分が食べますか」または「自分の子供や孫に食べさせられるか」が原点にあります。自分が食べないもの、あるいは子供や孫に食べさせないものを、お客様にお使いいただきたいとは、決して言えません。国内市場で使用されている糖アルコールは、ソルビトールをはじめとして各種製品の半分以上が海外で生産されています。日本有数のメーカー各社が海外に進出して製造している製品です。品質上の不安はありませんが、それでも私どもは国内生産にこだわり、お客様に「安心」してお使いいただく体制を維持していく方針です。「安心」を提供する立場から、最近気になりますのは食品の虚偽表示の問題です。お客様に疑いを持

たれることは、決してあってはならないことで、製品の品質表示や原材料の説明、また充填数などについて、間違いは起こり得るものではないという意味です。当社製品を安定的にお買い上げ頂くためには、お客様との信頼関係を良好に維持していくことが最重要事項と位置付けています。幸いにして当社の姿勢を評価いただき、多くのお客様が日本全国にいらっしゃると思います。

## BCPへの対応に注力

安定供給体制の維持、強化には、健全な製造設備の維持が必要ですが、当社の名古屋工場は、40年以上前に操業開始しましたので、設備の老朽化が進んでいました。ここ10年の間に順次更新しながら、水素ガス発生装置の新設などを含む設備増強を実施してきました。また、建屋の耐震性不足が部分的にありましたので、昨春までに耐震補強工事を完了させました。働き手の安全確保が結果として設備の安全確保になり、製品をお買い上げ頂いているお客様への安定供給の源の確保になりました。本社事務所が昨年夏に移転した結果、工場の事務棟と研究棟が大型老朽化対策案件として残りました。この問題解決に向けては、工場の隣接地を確保して、事務棟と研究棟の新設計画を進めています。これらが

— 一方、国内・海外企業との提携による仕入れ販売事業がございませぬ。メーカーである御社が代理店業務に注力する理由をお聞かせ下さい

鎌野 当社の歴史は、親会社のために作る会社としてスタートしました。が、株主が三井物産100%となった際に製販一体となりました。その後、作って売っただけでなく、09年に、三井物産のフードサイエンス事業の一部を譲り受けることになり、仕入れて売る商社機能を兼ね備えました。親会社は3〜5年の周期で人事異動があり、担当者とお客様との長い付き合いが難しいので、売先様にも買先様にも当社がお役に立てるのではなかの思いからの決定でした。ただ、僥倖ながら当社では、仕入販売商品は自社製品と同じレベルで自信を持ってお勧めできるものに限定しています。仕入販売商品を検討する際には、メーカーである当社の重要な機能の一つである評価機能を活かすことで、品目選定をしております。商社機能を兼備することによりお取引先との交流範囲が広がりました。そのお蔭で、当社が「こ

て新しいステージに入ることをお知らせする目的です。

キシロオリゴ糖につきましては、サントリー社の上市直後から三井物産が、後に当社がお取り扱いさせて頂いておりまして、事業化時期を定めました。

今回の試験は初期試験の4〜5倍の規模で実施されています。今回の試験が完了してから、また、もう少し生産効率を高めてからとの思いがあります。ただ、親御様からのご要望が数多く寄せられたこともあり、時期尚早を覚悟で、当社ブランド「ペビーオリゴ」の地域限定販売を開始致します。

機能素材に関する今後の事業化計画は、当社単独のテーマだけでなく、三井物産グループ関連各社との横断的テーマも数多くあります。グループの総合力発揮が課題となります。当社では、糖質化学バリエーション、特に、希少糖、希少糖アルコールに関連するテーマに注力しています。

— 糖アルコールの業務提携を強めているカーギル

鎌野 近未来の事業化

— 今後の事業計画についてお聞かせ下さい

鎌野 近未来の事業化



— 今後の事業計画についてお聞かせ下さい

鎌野 近未来の事業化